

石川県における平成30年中の災害、火災及び救急の状況（速報）について

石川県危機管理監室

本県における平成30年（1月～12月）の災害、火災及び救急の状況について、各市町及び消防本部(局)からの報告に基づき、以下のとおりとりまとめた。

1. 災害件数及び被害状況について

平成30年中の災害件数は18件で、前年（20件）に比べ2件の減であった。

また、平成30年中の災害による被害としては、死者2人（前年比：2人増）、負傷者92人（同：87人増）、住家全壊2棟（同：2棟増）、住家半壊5棟（同：4棟増）、住家一部破損57棟（同：55棟増）、住家床上浸水75棟（同：72棟増）、住家床下浸水400棟（同：320棟増）、非住家被害28棟（同：28棟増）、農林・土木施設等の被害額は7,722,075千円（同：2,537,987千円増）であった。

《災害件数・被害の状況》

区 分	災害 件数 (件)	人 的 被 害		住 家 被 害					非住家 被 害 (棟)	被 害 額 (農林・土木施設等) (千円)
		死 者 (人)	負 傷 者 (人)	全 壊 (棟)	半 壊 (棟)	一 部 破 損 (棟)	床 上 浸 水 (棟)	床 下 浸 水 (棟)		
平成30年	18	2	92	2	5	57	75	400	28	7,722,075
平成29年	20	0	5	0	1	2	3	80	0	5,184,088
増 減	▲2	2	87	2	4	55	72	320	28	2,537,987

なお、災害による主な被害の状況は、以下のとおりである。

- ・ 1月10日～18日の大雪により、輪島市、宝達志水町で死者2名、金沢市、七尾市などで負傷者25名、輪島市で住家の一部破損1棟、宝達志水町で床下浸水1棟、七尾市、能美市で非住家被害2棟の被害が発生した。
- ・ 1月23日～24日の大雪により、白山市で負傷者1名の被害が発生した。
- ・ 1月27日の大雪により、金沢市、珠洲市で負傷者3名の被害が発生した。
- ・ 1月29日の大雪により、金沢市で負傷者1名の被害が発生した。
- ・ 1月30日の大雪により、珠洲市で負傷者1名の被害が発生した。
- ・ 2月3日～25日の大雪により、金沢市、小松市などで負傷者52名、小松市で住家の全壊1棟、金沢市、白山市で住家の半壊5棟、金沢市、小松市などで住家の一部破損11棟、金沢市で床下浸水1棟、小松市、加賀市などで非住家被害18棟の被害が発生した。
- ・ 3月1日の暴風により、能美市で住家の一部破損1棟、かほく市で非住家被害1棟の被害が発生した。
- ・ 7月5日～8日の大雨により、小松市、加賀市で床下浸水9棟の被害が発生した。
- ・ 8月16日～17日の大雨により、金沢市で床下浸水2棟、非住家被害1棟の被害が発生した。
- ・ 8月23日～24日の台風第20号により、加賀市で負傷者1名の被害が発生した。
- ・ 8月27日～9月1日の大雨により、志賀町で住家の全壊1棟、七尾市、志賀町で住家の一部破損8棟、七尾市、志賀町などで床上浸水75棟、床下浸水382棟の被害が発生した。

- ・ 9月4日～6日の台風第21号により、金沢市、七尾市などで負傷者8名、住家の一部破損34棟、七尾市で床下浸水1棟、七尾市、かほく市などで非住家被害5棟の被害が発生した。
- ・ 9月7日～10日の大雨により、輪島市で住家の一部破損2棟、輪島市、七尾市で床下浸水4棟、輪島市で非住家被害1棟の被害が発生した。

《過去10年間の災害件数・被害の状況》

区分	災害 件数 (件)	人的被害		住家被害					非住家 被害 (棟)	被害総額 (農林・土木等) (千円)
		死者 (人)	負傷者 (人)	全壊 (棟)	半壊 (棟)	一部破損 (棟)	床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)		
平成29年	20	0	5	0	1	2	3	80	0	5,184,088
平成28年	14	1	31	0	1	13	0	2	9	658,187
平成27年	25		4			2		9	9	4,807,825
平成26年	28	1	10			15	1	71	12	1,539,716
平成25年	28	1	8			20	2	151	104	3,122,185
平成24年	25	1	50	1		15	1	24	62	2,534,232
平成23年	16	4	21	1		3	10	96	93	3,264,487
平成22年	21	1	9			40	1	28	16	1,380,038
平成21年	15		6	1		11		19		1,278,567
平成20年	12			2	9	7	511	1,564	15	5,102,049

2. 火災の状況について

平成30年中の火災は、出火件数243件（前年比：2件減）、住宅火災60件（前年比：6件減）、死者17人（前年比：11人増）、住宅火災による死者14人（前年比：11人増）、住宅火災のうち高齢者の死者10人（前年比：8人増）負傷者30人（前年比：2人減）、であった。

出火原因について、「放火（放火の疑い含む）」によるものが26件で最も多く、以下、「たばこ」25件、「たき火」24件、「こんろ」13件であった。

《出火件数及び被害状況》

区分	出火件数(件)		死者(人) ※1			負傷者(人)	主な出火原因(件)			
	うち住宅	うち住宅	うち住宅	うち高齢者	たき火		放火 ※2	たばこ	こんろ	
										増減
平成30年	243	60	17	14	10	30	19	16	16	13
平成29年	245	66	6	3	2	32	22	28	25	13
増減	▲2	▲6	11	11	8	▲2	▲3	▲12	▲9	0

※1 放火自殺者を除く ※2 疑いを含む

《過去10年間の火災種別》

(単位：件)

区分	平成21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
建物 (うち住宅)	204 (123)	162 (100)	172 (104)	182 (98)	167 (72)	128 (71)	132 (71)	144 (73)	135 (66)	134 (60)
林野	28	11	23	13	15	20	17	8	7	14
車両	48	49	43	42	42	37	32	34	43	38
船舶	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0
航空機	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	81	66	83	96	98	72	58	58	60	57
合計	364	288	322	333	322	257	240	244	245	243

《過去10年間の死傷者》

(単位：人)

区分	平成21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
死者 (うち住宅※)	22 (9)	21 (9)	17 (10)	17 (14)	12 (4)	19 (13)	9 (5)	12 (7)	6 (3)	17 (14)
負傷者	43	42	49	47	43	36	38	41	32	30

※放火自殺者等は含まない。

3. 救急の状況について

平成30年中の救急出動件数は46,174件（前年比：2,301件増）、搬送人員が42,400人（前年比：1,806人増）であった。

これは、11分23秒に1件の割合で救急隊が出動したこととなり、県民27人に1人が救急車で搬送されたことになる。

《救急の状況》

区分	出動件数 (件)	搬送人員 (人)	出動頻度	搬送人員割合
平成30年	46,174	42,400	11分23秒に1件	県民27人に1人
平成29年	43,873	40,594	11分59秒に1件	県民28人に1人
増減	2,301	1,806	—	—

《事故種別出動件数》

(単位:件)

種別	急病	一般 負傷	交通 事故	労働 災害	運動 競技	自損 行為	加害	火災	水難	自然 災害	その他※	合計
平成30年	30,055	7,254	3,035	450	367	350	160	129	52	13	4,309	46,174
平成29年	28,087	6,973	3,504	421	368	358	138	125	35	2	3,862	43,873
対前年	1,968	281	▲469	29	▲1	▲8	22	4	17	11	447	2,301

※その他：転院搬送等

《過去10年間の出動件数、搬送人員》

(単位：件（出動件数）、人（搬送人員）)

区分	平成 21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
出動件数	35,064	37,433	38,607	39,030	39,555	40,066	41,176	42,679	43,873	46,174
搬送人員	33,137	35,445	36,513	36,754	37,256	37,716	38,677	39,744	40,594	42,400